

ゆい

Vol.15
2017. 3

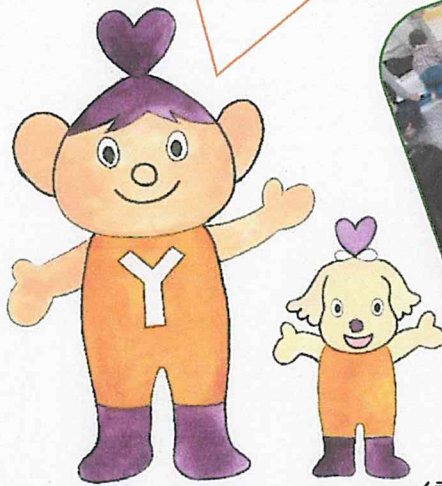
結ながれやま

私らしくあなたらしく

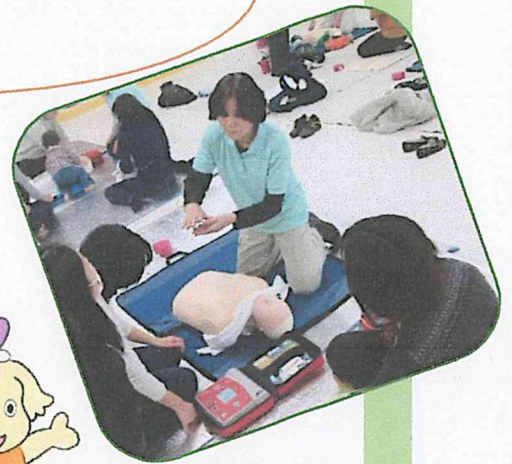
男女共同参画を啓発する『結』です！
子育て支援や防災・防犯活動をして
いる人々を紹介します。



「ママ Hug♡ながれやま」による、
ママと子どものチネイザンマッサージ



イラスト：三條栄子

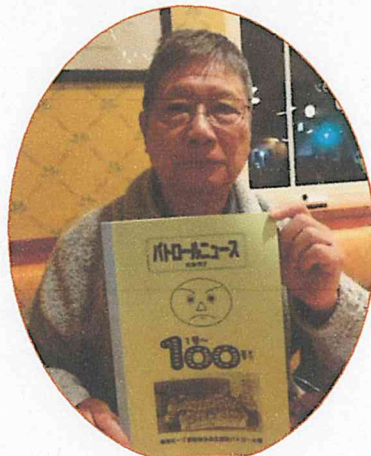


AED 講習会を行う
福井紀江さん

特集：流山でがんばる人見つけた！



11月3日に開催された
ヒミツキイベント



パトロールニュース 100号記念冊子と
杉山昇さん 目標は 200号



市民パトロール隊の活動に向かう
佐々木克之さん



流山で がんばる人 見つけた!



ママ Hug♡ながれやま

テーマはママを「ハグし、育む!」

「ママ Hug♡ながれやま」は、現在7人の企画メンバーと、興味のある企画に参加する30人のメンバーで構成されている。メンバーの出会いは、平成27年度に男女共同参画室が開催した「ワタシへのごほうび講座」への参加。会の代表である片岡綾さんは、「当時8か月の娘を抱え、子育て支援センターに行っても自分の話がほとんどできず、〇〇ちゃんのママとしか呼ばれないことに寂しさを感じ、次第に足が遠のいてしまいました。そんなときに、この講座の情報を見つけ、参加。ママとしてというよりも1人の女

受講した講座をきっかけに、ママをサポートする活動を始めた『ママ Hug♡ながれやま』、子どもの外遊びを支援する『ヒミツキチ』、積極的に地域活動に参画をしている人や、元女性消防団の経験を生かして防災活動をしている人を紹介するよ。



企画メンバー。左から3人目が代表の片岡綾さん

性としての生き方を見つめ直す内容に、私の心は乾いた砂に水が吸い込まれるように潤っていきました。私の心は晴れて、娘にも優しい笑顔が向けられていたように思えます。さらに、グループワークを通じて、気の合う友人もできました」と振り返る。講座終了後に、主催者から「今後何か活動をしませんか?」と提案があり、希望者によって「ママ Hug♡ながれやま」を結成。結成後は、メンバーを講師にしたキャラ弁講座、アロマオイルスプレー講座、座談会などを開催している。

ママが一人の女性に戻る時間を作りたい

現在は、流山市民活動推進センター等との連携で、月1回のサロンやイベントを企画・運営している。

11月18日に開催した「ママハグフェスタ」には約180人のママ、パパ、お子さんが来場。12月13日の「ママと子どものスマイルサロン」には、10組の母子が参加した。この日のテーマは「ママと子どものチネイザン（気内臓）マッサージ」。講師の金井祐子さんに、お母さんたちのお腹を触っていただき、それぞれが疲れている部位を指摘してもらった。「自分の体と心に関心を向ける時間を作ること



ママハグフェスタにて

が大事だと、改めて感じました。『母は強し』と昔から言われますが、常に子どもの命を預かり、家事、育児、仕事とフル回転しているのですから強くならざるを得ません。しかし、時にはゆっくりと一人の女性に戻る時間が必要なのではないでしょうか。月に1回ですが、サロンに来ることで、リフレッシュ、リラックスし、気の合う友達ができることで、自分のことを考えたり、子育ての不安が少しでも解消するきっかけになればと考えています」と話をする片岡さんは、これからも仲間と家族の協力を得ながら、活動を続けていきたいと意欲を語ってくれた。

母になったら自分のことはすべて後回しでは、自分の人生を思い切り生きられない不満感が募る。とはいえ、自分のことだけに時間は割くのは難しい。うまくこのバランスをとることが、子育てにおけるストレスを軽減するのではないだろうか。

「ヒミツキチ」

結果よりもプロセスを大事にする
外遊びを子どもに体験させたい

ヒミツキチ代表の乾善彦さんが子どもの外遊びを支援する活動を始めたのは、平成27年12月。以前から一社専属で働くよりも独立した方が、多様な働き方が可能になり、多彩な人とのつながりが生まれ、面白い仕事が出来るといえるだろうという考えがあった。独立にチャレンジしようという仕事を辞め、サポートメンバーの協力を得ながら活動している。

子どもの外遊びを活動の軸にしているのは、「昔、僕が遊んでいたような遊びを息子にもさせたかった」から。第一回目の企画として、竹とロープで遊ぶ企画を開催したところ、「ひたすら竹を切るのが楽しい」と子どもたちが喜び姿を目的の当りにし、遊びに大事なことは、結果ではなく、プロセスなのだ。と気づいたそうだ。「出来上がったものを評価するのではなく、遊びのプロセスを体感してもらいたい。与えられたことをやるのではなく、自分の感性に従って好きなようにやる。うまくいかないときもあるかもしれないけれど、そこに学びがある」と語る。



「ヒミツキチ」代表
乾 善彦さん

現在のヒミツキチの活動の代名詞ともいえる「段ボールで作る秘密基地」は、リサイクル業者の協力を得ている。リサイクルに回す段ボールを借りて子どもたちが自由に基地を作った後、壊してまた業者に返すという流れだ。

「子どももおもちゃでも何でも壊すのが好きですよ。でも家でそれをやると怒られる。だからここでは壊す体験してほしいんです」と乾さん。子どものためだけではなく、自分が面白いことに子どもを巻き込むという発想が、継続できるポイントだとも話す。「子どもの外遊びは、都市近郊どこでも抱えている課題。先進国だけでなく途上国でも同様だとか。ゆっくりと活動を広げていきたいです。目標を語る乾さんの瞳は少年のように輝いていた。



「防犯パトロールニュース」の発行を続ける 杉山 昇さん (東初石在住)

杉山さんは東初石1丁目自治会自主防犯パトロール隊員。地



地域活動に参画するお弁当屋さん 佐々木 克之さん (膳ヶ崎在住)

佐々木克之さん、昌美さんご夫妻(ともに50代)は、明るい接客で地域に愛されるお弁当屋さん。夫の克之さんは地域活動の達人でもある。地域活動に関わるご近所の先輩達の姿に共感興味を持ったのをきっかけに、現在、流山市民パトロール隊、流山市交通安全協力隊、流山市交通安全推進員を務め、さらに自治会活動にも積極的に参画している。「地域や自治会の活動にどんどん若い人に参加して欲しい」と願う。仕事では主に調理を担当する昌美さんは、克之さんの地域活動をサポート。夫婦・家族が団結して地域に貢献している。



救命の普及活動に取り組む 福井 紀江さん(西初石在住)

女性消防団員として活躍をしていた福井紀江さん(60代)は、退団後は市民の目線で防災活動に関わり、年間60回にも及ぶ救命、AEDの使用方法について普及活動をしている。女性活動メンバーは少数だ。昔からあった「助け合いの精神」で救命、AEDの普及活動を行なっている。誰もが命の大切さと向き合い、求められたときにすぐに動ける人を増やし、防災の大切さを伝えていきたい。その思いから、今日も救命、AED普及活動に精力的に取り組んでいる。

域の安全と暮らしやすい1丁目をめざして、仲間とともに1日2回の安全パトロール、流山警察署と連絡をとって防犯予防運動や子どもの交通安全に力を入れた催しを行っている。また、「防犯パトロールニュース」を毎月500部以上発行・配布している。来日していたオランダライデン大学エリック博士が100号記念冊子を見てパトロールに参加し、街の防犯への取組みに感動したというエピソードもある。最新号は126号。80代の杉山さんは、200号までは発行したいと頑張る。少林寺拳法のシニア教室に通い、体力と精神力を若返らせているという。

編集員のスポーツ吹き矢体験レポート



スポーツ吹き矢は、誰もが楽しめる軽スポーツ。腹式呼吸をベースとしたスポーツ吹き矢呼吸法で、矢を的に当てます。1回に吹く矢は5本、直径3.3cmの的に当て、点数を競う競技です。

最初は的に当たらなかったけれど、指導の下、コツを覚えて的に当てられるようになり、当たった時の音が爽快でした。正しい姿勢で行わないと当たらないので、練習をしていた皆さんの背筋はピンと伸び、若々しい印象。吹く前後に、吹き矢を掲げる所作もあり、それが一連の動きとなるため、礼に始まり礼に終わるといって日本武道にも通じるものがあります。「入り口は広いけれど奥が深い」という指導員の松井さんのことばがとても印象的でした。

編集員お勧めの本



『サンタのおばさん』

東野圭吾 作
杉田比呂美 画
(株)文芸春秋

「サンタ」を主人公に、今まで当たり前と思っていたことや、気づけなかったことを「そういえば」と気づかせてくれる一冊。なにげない文章の中に、さりげなく問題提起をしている、大人向けの絵本です。

(流山市立図書館で借りられます)

平成29年度 男女共同参画講座予定

開催日	講座名等・(会場)	講座内容	
5月	11日(木)~(全7回)	ワタシへのごほうび講座 (南流山センター)	子育てをしながら自分らしいライフスタイルを探す講座です。
	28日(日)	シネマ&トーク「わたしはマララ」映画上映 (生涯学習センター)	映画上映後、女性の生活や地位向上をジェンダー平等の視点から考えます。
6月	16日(金)	情報紙編集講座 (中央公民館)	男女共同参画の視点を取り入れた情報紙づくりを学びます。
7月	1日・8日(土)	女性と子どものための護身術 (生涯学習センター)	いざという時に、自分の身を守ることができるように、知識と技を学びます。
9月	7日(木)~(全4回)	女性のキャリア形成支援講座 (南流山センター)	自分の強みを知り、これからのキャリア形成を考える講座です。
10月	5日(木)~(全6回)	女性のための課題解決セミナー (南流山センター)	女性がイキイキと活躍していくために必要な知識やスキルを学ぶ講座です。
12月	3日(日)	ワークライフバランス講演会 (生涯学習センター)	どのようにしたら女性も男性も仕事と家庭の両立ができるかを考えます。

※内容については、予定のため変更となる場合があります。

編集後記

- ・男女共同参画の視点に立って、記事を書きました。 三條 栄子
- ・がんばる人を特集しましたが、私自身これからも頑張ります。 柳橋 和郎
- ・子連れでの編集会議は、母子共に楽しい経験となりました。 片岡 綾



相談窓口のご案内

女性の生き方相談

※秘密厳守・相談無料
お気軽にご相談ください

相談方法 電話相談、面談相談
相談場所 市役所市民相談室
相談時間 第1、第2、第4金曜日 10:00~16:00
(祝日・年末年始を除く)
一人一回電話相談 25分以内・要予約
面談相談 50分以内・要予約

予約方法 流山市総合政策部企画政策課男女共同参画室に電話または窓口でご予約ください。

予約・問い合わせ先 TEL04-7150-6091

DV相談窓口

■流山市役所 子ども家庭課 04-7150-6082
月~金(祝日・年末年始を除く) 8:30~17:00

■千葉県男女共同参画センター
火~日 9:30~16:00 04-7140-8605 (女性)
火・水 16:00~20:00 043-285-0231 (男性)

■千葉県女性サポートセンター 043-206-8002
365日 24時間

■県警察本部サポートセンター 043-227-9110
月~金(祝日を除く) 8:30~17:15

■松戸健康福祉センター(松戸保健所)
月~金 9:00~17:00 047-361-2121



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

男女共同参画社会をめざす情報紙 結ながれやま vol.15

企画編集: 結ながれやま市民編集員

事務局: 流山市 総合政策部企画政策課男女共同参画室

※市民編集員を募集しています。

関心のある方は事務局までご連絡ください。

〒270-0192 流山市平和台1-1-1

TEL 04 (7150) 6064

FAX 04 (7150) 0111

Email: danjokyoudou@city.nagareyama.chiba.jp

記事に関する、ご意見・ご感想をお待ちしております。

結とは…昔、農村の人々は手を貸しあうことを「結」と呼びました。また友達や友愛を意味する言葉でもあります。